

SNOW SHOVELING

BOOKS & GALLERY

【刊行案内】

「NEWYORK BOOKSTORE NOTE」発売のお知らせ

ブックストアを巡る私的ニューヨーク案内。

マンハッタンにある本屋のいろいろを手記のように綴る。

駒沢の書店 SNOW SHOVELING の中村が、年に2回ほど訪れるニューヨークの本屋を、「あだ、こうだ」言いながら独断と偏見で紹介します。大型書店の存続が難しいマンハッタンにおいて、どのような本屋があり、どのようなスタイルがあるのか。本好きにも本屋好きにもニューヨーク好きにもオススメです。2015年に発行した『NEW YORK COFFEE SHOP JOURNAL』に引き続き、「ニューヨーク三部作」を目指して刊行しました。※尚、「ブルックリン編」も続けて(2017年)刊行予定。

【概要】

- 体 裁：A5 (148×210) 左綴じ/カラー 40P
- 発行日：2016年9月22日
- 発行部数：1000部
- 価 格：¥1,000(+TAX)
- 販 売：書店・雑貨店・等を予定
- 発 行：SNOW SHOVELING

【取引情報】

- 買 切：6掛 ●委 託：8掛
- ※10部以上のお取り扱いでサンプルを1部ご提供します。
- ※発送は(下代10,000以上)買切りの場合は送り主負担、(下代10,000以下)買切り、委託の場合は荷受人負担。

【ご注文方法】

info@snow-shoveling.jp まで以下の情報をご連絡下さい。

件名：発注「NEW YORK BOOKSTORE NOTE」
貴店名/ご担当者名/発送先〒住所と電話番号
注文部数：



【序文より】

例えばユニオンスクエアの大型書店で立ち読みをしていると、隣にいる美大生風の若者が唐突に「Happer's Bazarの最初のアートディレクターは誰だっけ?」と聞いてきたり、例えばウェストヴィレッジの角の本屋でムラカミの新刊を購入すると、「君の国は偉大な作家を輩出したね」と国を代表して褒められたり、ニューヨークの本屋はそんな小さな出来事が起こったりする。僕はそれらの体験をなぜだか確かに記憶していて、そのひとつひとつが何かのタイミングで起動しては僕の心を少しだけあたかい気持ちにさせてくれる。

ニューヨークという多様性に満ちた街の書店は、当然ながらバラエティに富んでいる。時代に合わせて進化を遂げているものもあれば、何も変わらずにいることで存在を示すものもある。ここに記したお店の多くは個人経営の書店だ。彼らは(彼女らは)それぞれに異なる刺激的な体験を与えてくれる。世界は広いけど、これほど書店が集まって切磋琢磨している街は他にないだろう。これはそんなニューヨークの本屋をたずねたメモ書きのような個人的記録である。

【掲載店】

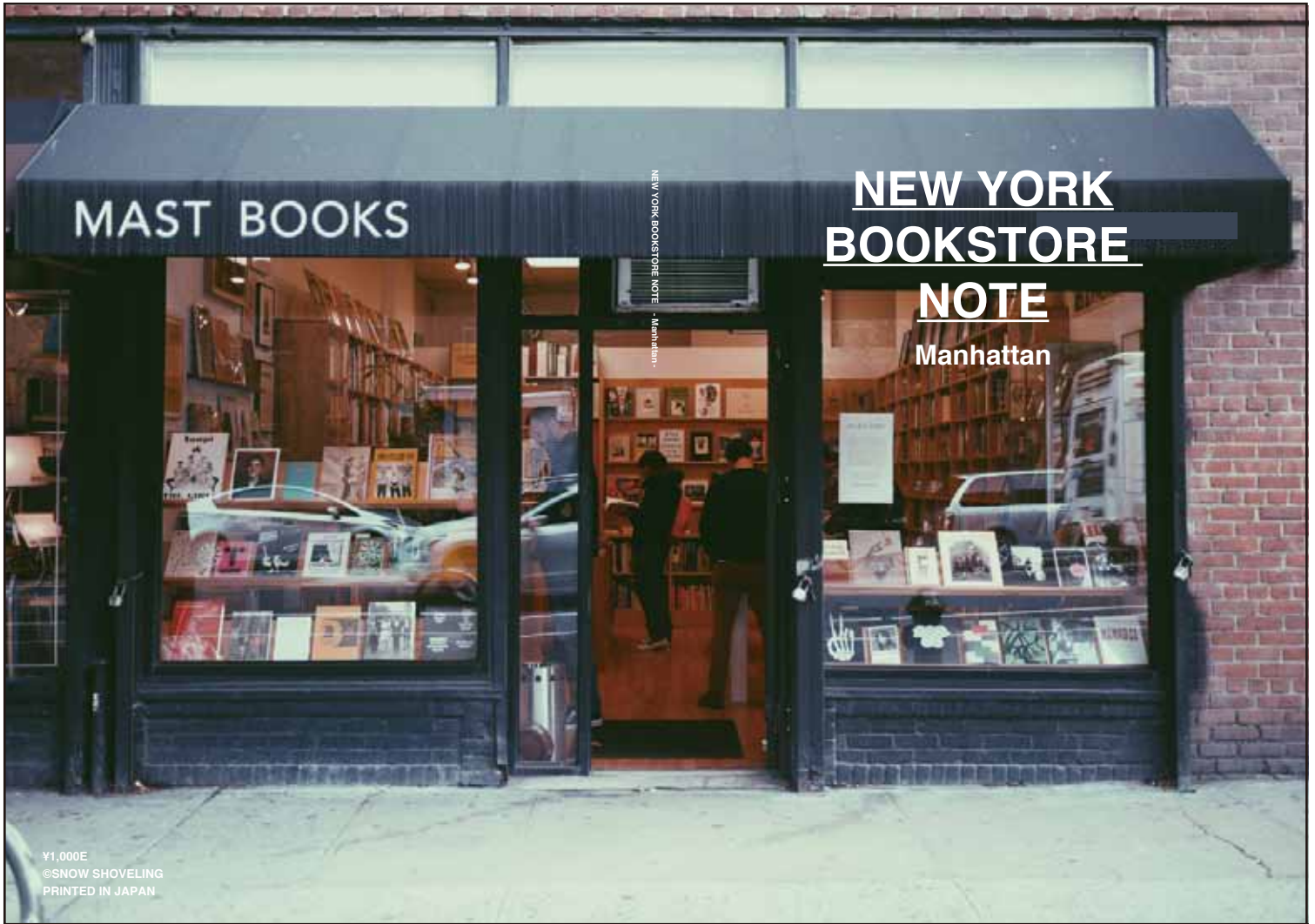
- Westsider Rare and Used Books
- Aperture Gallery & Bookstore
- Printed Matter
- 192 Books
- Rizzoli Bookstore
- Bookmarc NY
- Three Lives & Company
- Strand Bookstore
- East Village Books
- Mast Books
- Bluestockings
- Object_Ify 139
- Clic Bookstore & Gallery
- Housing Works Bookstore Café
- McNally Jackson
- Mercer Street Books & Records
- Dashwood Books
- Book/Shop (in C'H'CM)
- [Other Bookstore List]

SHUICHI NAKAMURA

OWNER
nakamura@snow-shoveling.jp

2F 4-35-7 Fukasawa, Setagaya-ku
TOKYO, JPN 1580081

P : +81(0)3 6325 3435
W : snow-shoveling.jp



¥1,000E
©SNOW SHOVELING
PRINTED IN JAPAN

【Recommend Books】



ニューヨークとか
ニューヨークの本屋とかを
楽しむ本たち

【Recommend Books】



ブックストアニューヨークで最も愛された書店
リン・ティルマン

シンプルなタイトル、そして心惹かれるサブタイトルですね。この本は1978年から約20年間、ニューヨークの74丁目にあった書店「ブックス&カンパニー（本と仲間たち）」の物語です。本を書く人、売る人、読む人たちが集い、語り合い、サロンのように機能していたその場所は伝説の書店として語り継がれています。本書を読めば当時のニューヨークの空気を感じ、書店、出版業界の雰囲気やうかがい知ることが出来ます。そして何より書物への深い愛が伝わってきます。 晶文社 / 2500円 + 税

ぼくのニューヨーク案内
植草甚一



初めてニューヨークに行く前から植草甚一さんのこの本を読んでいて、見た事の無い景色に想いを馳せたものです。時代は違いますが、街の風景や人々の描写が瑞々しく伝わり、まるで自分が街を歩いているような気分させてくれます。そしていつの日か、こんな風に本屋巡りやマーケット巡りをしたいなあと思っていました。ご覧いただいている「NEW YORK BOOKSTORE NOTE」のタイトルも「ぼくのニューヨークの本屋案内」にしようかしらまいが散々悩みましたよ。 晶文社 1400円 + 税

ニューヨークの古本屋
常盤 新平



I・ショーなどのアメリカ文学の翻訳家としても知られ、アメリカについてのエッセイの著作も多い常盤氏がニューヨークの街を訪れては、古本屋を淡々と巡る手記のような本です。当時と街並は変わって、今は無くなっているお店のほうが多いようですが、それでも本屋巡りの楽しさは充分伝わってきます。本書を片手に、かつてここにこんな本屋があったのだ、と現地で想いを馳せるのもいいかもしれません。 白水社 / 1900円 + 税



隅の当たる美しい書房

192 Books

08

Chelsea

こんなお店が近所にあつたら・・・というのはよく使う表現だが、それでもこのお店はこの常套句以上に適当な表現が見つからない。チェルシーの街は10番街。カフェやレストラン、ギャラリーの多いこのエリアに、光の入る大きな窓、美しいウィンドウ・ディスプレイ、そして扉を開け入った時に少しだけ外の世界から切り替わるあの親密な空気。なぜ自分がこんなロマンティックな表現をしているかは置いて、とにかくこの192 Booksというお店は抜群なのだ。何が、何だろう、何が。

10坪もない空間に、女性オーナーによって文字通り厳選された文学のセレクションがこのお店のハイライトではあるが、人文、哲学、そしてアート、子供向けの本まで。それが見事にバランス良く居心地良さそうに収まっているのだ。お客さんの多くは近所の住人らしく、皆がスタッフと何気なく談笑して、その後ひととおり本を眺めては購入した本を抱えて別れの挨拶をして帰っていく。そんなやり取りを眺めている僕のほうも気落ちが良い。お店のWebサイトを調べるとイベントも色々やっていて、特に地元の作家が読むリーディング・イベントは人気なようだ。

太陽の光と、店主に愛された本と、心地よい空間が、この街のオアシスであることは間違いない。そして「何が抜群か」って話は、その雰囲気につきるんだろうな、という結論。

192 Books
(New)
192 10th Ave at 21st St
New York, NY 10011
Transit information 23 St
Phone number (212) 255-4022
192books.com
Hours 11:00 am - 7:00 pm



NEW YORK BOOKSTORE NOTE 09

Flatiron



お洒落して行きたい書房

Rizzoli Bookstore

アートブック専門店のRizzoliを初めて訪れた時の感動は今でもはっきり記憶している。見事な調度品と気持ちの良い吹き抜け、美しいアートブックたち、そしてそこを訪れるニューヨーカー。「まるで映画のワンシーンじゃないか」と思ったら、本当に映画にも出てたり(確かデニロが出てるやつ)。どこを見ても絵になるし、そこにいる自分までなんだか誇らしく気持ちよくなってしまう。気になる本を抱えて、ふかふかの椅子に座っていつまでも本を見られる。言ってみればちょっとした天国であった。そんなRizzoliが2014年に57丁目のお店を開けると発表した時はちょっとした騒ぎになったそうだ。そして多くのニューヨーカーが落胆したそうだ。そりゃそうだ。

そして2015年秋にRizzoliはフラットアイアの25丁目と26丁目の間に移転オープン

果たす。移転前とは異なり、1フロアの広い店内で「Most Beautiful Bookstore in New York」のキャッチ・コピーをそのままに、真新しさは若干感じてしまうが、その美しさも踏襲して。相変わらず重くて大きな本たちを贅沢にレイアウトして。お店の奥にはイベントホールがあって毎日何がしの催しがあるそう。これから新しい歴史を積み上げていくのですね。時代が変わっても、美しく本を提供し続けてください、リッツォーリさん。

Rizzoli Bookstore
(New)
1133 Broadway
New York, NY 10010
b/t 26th St & 25th St
Transit information 28 St
Phone number (212) 759-2424
rizzolibookstore.com
Hours 10:30 am - 8:00 pm



NEW YORK BOOKSTORE NOTE 10

West Village



観光地的なお洒落書房

Bookmarc NY

「ウェストヴィレッジはマーク・ジェイコブスの村だ」なんて誰かが言ってたけれど、なるほど確かにその通りで実際のこのエリアに5、6店舗ほど構えているし、立派な自宅もウェストヴィレッジだそうで。そして洒落の効いた彼の名のついたブックストアも当然この街にある。BOOKMARK(葉の意)のKをCに変えてMARCですもの。うまいこと言いました。

そんなBOOKMARCはファッションとアートとポップカルチャーに特化した本のセレクション。インテリアは言うまでもなくファッションブルである。選書、本の見せ方は他の本屋とは一線を画し、おそらく本当はブティックで服が売りたいのであろうファッションブルなスタッフの無愛想でスノッパな雰囲気づくりなどは、いい味付けとなっている。それより何よりオリジナルグッズの数が多種多様で驚かされる。ギ

フトグッズ、ステーションナリー、バッグ、iPhone、iPad ケースなどなど。さすがメーカーである。お客さんのほとんどは本よりグッズ目当てのように見えなくもないけれど(それはお客の勝手、お店の勝手なので)。「こんなの本屋じゃない」と貴方は言うかもしれない、「でもこれも本屋なのだよ」とホームズは言いそうな気がしませんか。

というわけで、いろんな意味で学びの多い本屋です。向かいのカップケーキ屋も「セックス・アンド・ザ・シティ」で有名らしいので是非。甘ったるい午後を。

Bookmarc NY
(New / Goods)
400 Bleecker St
New York, NY 10014
b/t 11th St & Perry St
Transit information Christopher St
Phone number (212) 620-4021
marcjacobs.com
Hours 11:00 am - 7:00 pm



NEW YORK BOOKSTORE NOTE 11